

第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

報告書資料 一般 - 05

学校名・団体名	雫石町立雫石小学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	小中9年間を見据えたキャリア教育の展開
<p>〈活動・研究の意義〉</p> <p>1 本校は、平成31年3月現在、児童数306名、学級数14の標準規模校である。平成28年、雫石町に小学校が10校あった。そして、統廃合で5校となった。町のセンタースクールとして、本校は、統廃合した4小学校と町にある1中学校と連携して教育活動を展開する使命がある。</p> <p>2 雫石町は、岩手県中部に位置し、西側は秋田県と接し、十和田八幡平国立公園に含まれている。そして、岩手山麓にあるたくさんの温泉、町内3つのスキー場、小岩井農場など風光明媚な自然環境に恵まれている。本校には、協力的な家庭・地域と協働したキャリア教育を展開できる素晴らしい素地がある。</p> <p>3 本校は、家庭や地域との連携が強固であり、「地域全体で子どもを育む」ことを目的とする教育振興運動が盛んである。そして、地域の自然体験や伝統文化の継承である「青空農園」「青空太鼓」を行っている。また、伝統の「鼓笛」は、地域の「雫石よしゃれ祭り」や「防犯交通安全パレード」に必要不可欠な存在として、地域に高く評価されている。</p> <p>4 平成30年10月12日、岩手県小中学校長研究大会が宮古市で開催された。雫石町校長会は、大会で「キャリア教育の推進における校長の役割」というテーマで研究発表を行った。そして、平成31年10月には、全国連合小学校長研究大会秋田大会でも発表予定である。町内5小学校と1中学校との連携を強化させ、小中9年間を見据えたキャリア教育の実践を一層推進していきたい。</p>	

〈活動報告〉

1 学校・家庭・地域と協働したキャリア教育に係る体験活動

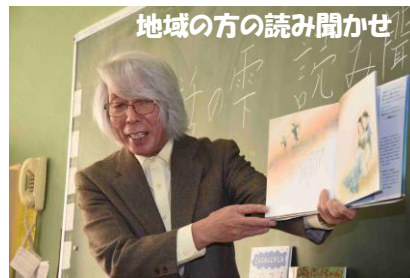


望ましい人間関係を築き、自分の役割を考えて行動できる児童に育成するため、寄せ植えプランターづくりや町探検を行った。地域の「よしゃれ祭り」に参加して、雫石町のよさを体感した児童たちであった。



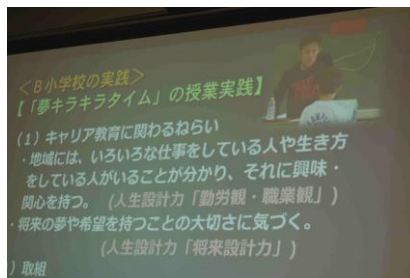
「青空農園」体験活動の一環として、地域の方々に指導を受けて水稻栽培やナスなどの栽培を行った。また、5・6年112名が参加して、パレードの先頭に鼓笛隊が立って、町の交通安全の啓発活動を行った。

2 豊かな感性や表現力を高める「読書活動」の取り組み



児童の表現力や言語能力の向上を図るため、PTA図書部、地域やPTAボランティアの協力を得ながら、朝読書の時間に年間通じ継続的に「読み聞かせ」を行ったり、図書祭りで影絵の上映を行ったりした。

3 雫石町の小中学校と連携したキャリア教育の取組



平成30年10月12日、宮古市で岩手県小中学校長研究大会が開催されて、雫石町校長会がキャリア教育の研究発表を行った。平成31年10月の全国連合小学校長研究協議会秋田大会でも発表を行う予定である。

4 期待される成果

- (1) 平成30年度の岩手県小中学校長研究大会で、雫石町校長会は、小中9年間を見据えたキャリア教育の方向性について発表した。平成31年度の全国大会に向けて、授業実践を重ねていきたい。
- (2) 学校・家庭・地域が連携してキャリア教育を推進することにより、ふるさと雫石を愛し誇りに思いながら、自分の夢を実現しようとする児童が育つものと期待している。